

ネイチャーセンターだより

4月のみどころ

【上旬】

ネイチャーセンター周辺で、フクジュソウ、フキ（ふきのとう）、ザゼンソウが見頃をむかえ、花の季節の始まりを感じさせます。また、春国岱第一砂丘ではヒバリの姿が見え始めます。

【中旬】

春国岱の第三砂丘や自然学習林では、純白の仏炎苞が特徴のミズバショウが開花します。小鳥の小道では、エゾエンゴサク、キバナノアマナなどの早春の花が見られるようになります。また、風蓮湖にはミヤコドリやカモ類が渡ってきます。春国岱木道の先端まで行くと、奥からルリビタキのさえずりが聞こえてきます。



ルリビタキ

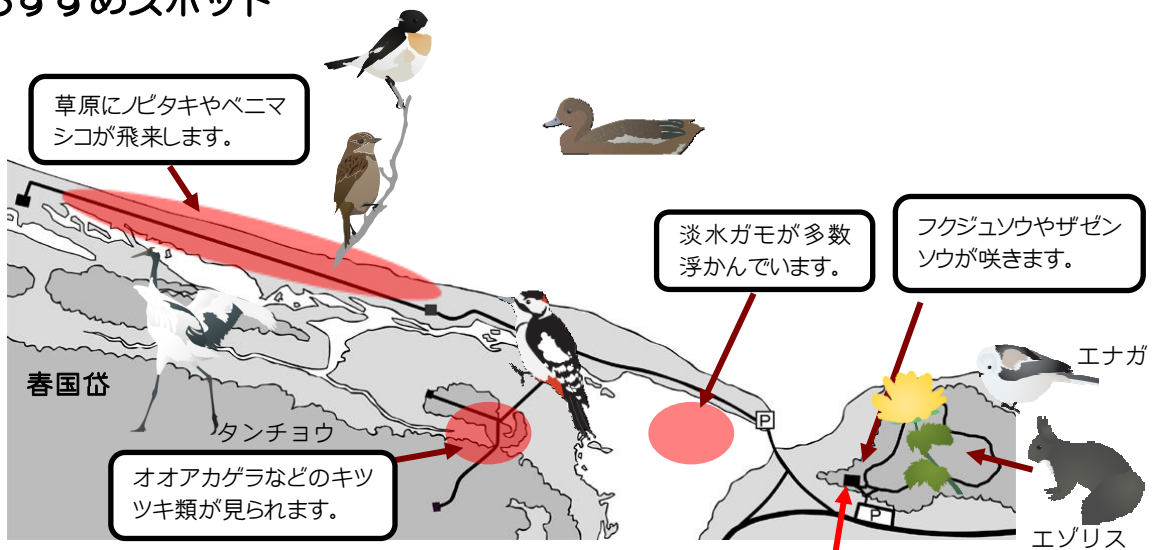


クジャクチョウ

【下旬】

アオジやノビタキ、オオジシギなどが見られるようになります。クマガワは求愛の時期に入るので、声や姿を確認しやすくなります。水辺には、エゾアカガエルが産卵のために集まってきます。また、クジャクチョウも冬眠から覚め、ひらひらと飛びはじめます。

おすすめスポット



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(無料)

春国岱のガイドマップの配布や双眼鏡の無料貸し出し、スライドの上映などを行っています。また、レンジャーが生き物に関する質問などに随時お答えしています。気軽にお声かけください。

トピックス

地域で違う！？ 夏の鳥の魅力

春、春国岱の第三砂丘の森から、ルリビタキのさえざりが聞こえてきます。ところで、皆さんの身の回りには野鳥図鑑には、ルリビタキがいつ見られる鳥だと書いてありますか？

図鑑には、ルリビタキは留鳥（一年中いる鳥）と書いてありますが、根室には、夏に繁殖のためやってきます。また、本州中部以南の平地から山地では、主に冬に見られます。このように、国内で見られる季節が違う鳥は他にもいます。例えば、夏に根室で見られるベニマシコやオオジュリンもそれにあたります。

季節が違うことで、根室では、冬の本州とは違った鳥の姿や行動を見ることができます。例えば、オオジュリンのオスは、夏になると頭部が黒色へと変わります。私たちは、ちょっと春国岱を散歩すれば夏のオオジュリンを見ることができますが、この姿を本州に住む人が見ようとすると、北海道や東北地方に行く必要があります。また、夏の繁殖期特有の鳴き方であるルリビタキのさえざりを聞くには、本州では亜高山帯まで山を上っていく必要がありますが、根室では平地の森で簡単に聞くことができます。

根室では、本州の人がうらやましく思うような美しく活発な鳥の姿を、身近な所で楽しむことができます。"いつもいる鳥"の暮らしを調べてみると、新しい驚きや魅力を見つけられると思います。



夏鳥の合唱

春国岱クイズ

春、春国岱にはミヤコドリというチドリの仲間が飛来します。その鳥の行動をよく観察すると、地面をしきりに突いて何かを食べています。さて、ここで問題です。ミヤコドリの食べ物は何でしょうか？

(A、Bの中から答えを選んでください。)

ヒント：ミヤコドリの英語名はオイスター（カキ）キヤッチャーです。



ミヤコドリ

- A **二枚貝** B **魚**

答えは次号に掲載します。

(先月号の答え…A)

いきもの図鑑



英名 Far East Amur adonis 学名 *Adonis ramosa* Franch.

フクジュソウ（キンポウゲ科）北海道から九州まで広く分布し、根室では3月末、春一番に雪を押し、根室では3月末、春一番に雪を押し、花は開花します。花は日がよく当たると開きますが、くもりの日などは閉じています。太陽光を利用して、花の中央部に熱を蓄え、その熱を使い昆虫を誘引します。全草が有毒です。芽を出したばかりのころは、フキノトウと似ているため間違えて食べ、中毒を起すケースがあります。

レポート

出前講座で寿大学に行きました。

3月12日（月）、根室市総合文化会館主催の「寿大学」で根室の魅力と冬の野鳥についてお話をする機会をいただきました。冬の鳥について、クイズなどをおりませながら、1時間ほど講演をしました。講演が終わった後、参加者の方からは、「根室にもまだまだ知らないことがたくさんあるのだということがわかった」という感想をいただきました。



講座の様子

レンジャー日記

3月18日、ボランティアの方と一緒に春国岱の生き物を調べる、自然情報収集調査に出かけました。

調査では日本で一番小さい鳥であるキクイタダキや、渡ってきたばかりのオオハクチョウなど、様々な生き物と出会うことができました。中でも一番の出会い、縄張り争い中のエゾリスで、一度に4頭も見ることができました。

今回のエゾリスのように、自然の中には「そのタイミング」でしか得ることのできない出会いがたくさんあります。皆さんもそんな特別な出会いを求めて春国岱を散歩してみてもいいかでしょうか。

【記：レンジャー松岡】



NEWS

※重要なお知らせ

平成24年7月16日から8月31日の一月半の間、春国岱橋の補修工事のため、春国岱のご利用ができなくなります。さらに、翌年の同時期（日程未定）にも同様の工事が行われ、その間も春国岱がご利用できなくなる予定です。大変ご迷惑をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、春国岱ネイチャーセンターと自然学習林は工事期間中も引き続きご利用いただけます。



行事などのお知らせ

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは…

春国岱ネイチャーセンターへ、電話（0153-25-3047）もしくは直接お願いいたします。

開催日	内 容	参加費	申込方法など
4 / 5 まで	クラフトコーナー 自然の素材を使って、工作ができます。 見本や自由な発想で作ってみましょう。	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでも ご利用いただけます。
いつでも	ラムサール クイズ ネイチャーセンターの展示フロアに 出題されたクイズに挑戦	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでも ご参加いただけます。
いつでも	ほんもの探しゲーム ネイチャーセンターの展示コーナーで かくされた本物を探すゲームに挑戦	無料	申込み不要 ※開館時間中はいつでも ご参加いただけます。

団体対応のお知らせ

春国岱ネイチャーセンターでは、自然学習、郷土学習などを目的とした団体を対象に様々なプログラムをご用意しています。

【プログラムの例】

ガイドウォーク…春国岱を歩きながら、鳥や昆虫、植物などの観察を行います。

室内学習…講演会、写真や実物を使ったレクチャー、ティチャーズ・ガイドを使った体験学習などご希望のテーマに応じて対応させていただきますので、まずはお電話（0153-25-3047）でご相談ください。



ボランティア



春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアグループ・スルクと個人参加のフィールド・ボランティアが活動をしています。レンジャーと一緒に自然の調査や観察会の開催したり、自主イベントの企画・実施をしたりなどの活動を行っています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。お気軽にお問合せください。

◆対象：高校生以上

◆会費・保険料（年間）：

フィールド・ボランティア 300円

ボランティアグループ・スルク 1500円

◆お問合せ：電話 0153-25-3047

マナーを守って…



美しい自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場より奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu_nc@marimo.or.jp

URL. http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆4月の休館日：4, 11, 18, 25日

◆4月の開館時間：9：00～17：00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要 事前申込）